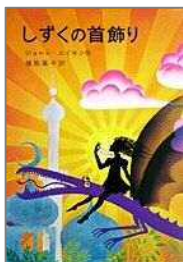


しずくの首飾り^{くびかさ}



ジョン・エイキン^{さく} / 作 猪熊葉子^{いのくまようこ} / 訳
いわなみしよてん^{やく}
岩波書店 150p ISBN : 978-4-00-110384-7

北風がローラにくれた^{くびかさ}首飾りは、みにつけると雨からまもられ、しずくの数をふやすと、雨をふらすこともできました。ところが、^{くびかさ}首飾りをぬすまれ、ローラはさがしに行きます。まほうのお話が八つ入っています。

しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩

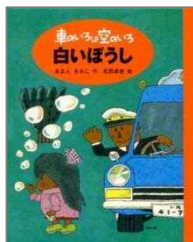


はせみつこ^{へん} / 編 飯野和好^{いいの かずよし} / 絵
ふざんぼう^え
富山房 160p ISBN : 978-4-572-00466-6

「あなにおちたよ / あいたたた / アイロンさわって / あっちち」(谷川俊太郎^{たにかわしゆんたろう}作) など、声に出したり、ゆかいなことばを見つれたりして楽しめる詩がたくさんあります。『みえる詩あそぶ詩きこえる詩』もどうぞ。

白いぼうし (車のいろは空のいろ1)

シリーズ
3 さつ



あまんきみこ^{さく} / 作 北田卓史^{きただたくし} / 絵
しや
ポプラ社 125p ISBN : 978-4-591-06442-9

まつい
松井さんがひろったぼうしから、チョウチョがとび出しました。すると、いつのまにか、車には見知らぬ子がのっています。ふしぎな^{きかく}客をのせて走るタクシーのお話です。『春のお客さん』、『星のタクシー』もあります。